

避難小屋に泊ってみよう 雁ヶ腹摺山・大蔵高丸

実施日 2011年7月9日(土)～10日(日)
天候 曇り／晴れ
リーダー 涌井 良明
参加者 齋恵美子、涌井良明、鈴木恵美子、
石附智江、渋谷賢寿、渋谷京子、中
村友子、伊藤久雄、石原勝正、長濱
隆行、長濱あゆみ 計11名
費用 JR1,310円(高尾起算) タクシ-2,000円
タイム 7/9 大月駅(8:57タクシ-)大峠(9:50～
10:00)雁ヶ腹摺山(10:52～11:
00)大峠(11:45～12:20昼食)赤
岩の頭(13:02～13:10)黒岳(14:
03～14:22)湯ノ沢峠(15:10)避
難小屋 (泊)
7/10 湯ノ沢峠避難小屋(5:47)大
蔵高丸(6:42～6:55)ハマイバ
丸 (7:25・7:35)天下石
(8:15～8:20)米背峠(8:40・
9:00)大谷ヶ丸(9:23・9:33)
滝子山登山道合流点(10:27
・10:40)滝子山(11:00・
11:10)ザックデポ点(11:
14)桧平(11:45～12:10 昼食)
水場(13:00・13:15)多貴子
登山口(14:00・14:15)初狩
駅(14:45・15:41)

9日 蒸し暑い大月からタクシ-で大
峠へ。峠の東屋にザックをデポして雁ヶ
腹摺山へ向かう、小沢を渡り山腹を絡む
道をから尾根に乗った道はジグザグに高
度を上げる、草原と高原との分岐ので
姥子山への腹摺山五望めなをちのま
先が雁ヶ腹摺山旧富士は草原にた。大
の富たが、景に良い頂だ。



で戻り、東屋で昼食にする。
食後、赤岩の頭まで230mの登りだ。笹
に覆われた急登から樹林の道を登り、小
さな頂の赤岩の頭に出る。
傾斜も緩くなった尾根を行き、小金沢
縦走路と合流すると黒岳に飛び出す。樹
林で囲まれた頂である。少し下って登り
返すと視界も開けた白谷ノ丸だ、展望の感
稜線になったが遠くで雷が。イヤな来
じ、ガスも流れ眺望も得られず、雨の
前に湯ノ沢峠に近づきたいので先を急

ぐ。峠まで270mを下るが砂地の道は所
々が挟まれた様になっている。白ザレの
縁を通過すると湯ノ沢峠の十字路だ。左
へ僅かで避難小屋に着いた。ヤレヤレと
思っている雨も落ちてきた。

食事満足で、自前と会装備の3張りとし
小屋組に分かれ山中泊らしい一夜となつた。

10日 4時起床で朝食、撤収後予定
より若干早く出発する。湯ノ沢峠から南
へ進む、峠のお花畑が開け青空がスッキ
リ気持ちよく広がって早朝の山の空気が

何となく嬉しい。雲南
海を突き抜けたくっ
アの連なりもくっ
きりだ。大蔵高丸
では、夏富士が見
なスカイライン
を見せられる。帯
と進むが、破魔射場丸の先の小ピークの
急な下りは泥道で滑り易くコース一番の
難場となった。天下石を過ぎて下る米返
背峠、活力補給して大谷ヶ丸へ登り、
山頂手前から滝子山への道に入ると、
直ぐに下りになり、後は小さく登降を
繰り返すが、所々は敷もさく人少
な様子がかがわれる。
滝子山登山道に合流して道も良くなり
鎮西ガ池を過ぎて一登りでは滝子山々頂分
岐になる。ザックを山頂を見上中て回
を下る。今朝の雲が急
往復す、富士の雲が急
た美しい、富にクを
部はしっ隠れな
にいた。ザックを
収して、桧平へ



と急な下り、難場背峠、山頂手前から滝子山への道に入ると、直ぐに下りになり、後は小さく登降を繰り返すが、所々は敷もさく人少ない様子がかがわれる。滝子山登山道に合流して道も良くなり、鎮西ガ池を過ぎて一登りでは滝子山々頂分岐になる。ザックを山頂を見上中て回を下る。今朝の雲が急往復す、富士の雲が急た美しい、富にクを部にいた。ザックを収して、桧平へ



下降。満開のヤマツヤ三食ら続プ所は
下ボ峠を見た。急下りの整
は、張れ道の尾根を外れて山腹の下りに
良好である。尾根を洗い喉を潤してから傾斜
なり立つ、顔を洗う。林道から藤沢
の緩んだ沢沿の道を下る。しばしザックと脚を投
集落登山口へ出て、午後の日差しを受けて初狩駅へ。
げ出す。午後の日差しを受けて初狩駅へ。
しっかり背負ってしっかり歩いた暑い山
行も終了。素晴らしい山行になりました。
皆さんアリガトー！
(記&写真・涌井 良明)

